



美しい時代へ

東急グループ

第143期
中間

平成23年4月1日から
平成23年9月30日まで

Business Report

Contents

トップメッセージ	1
事業フォーカス	
災害・事故に強い東急線を目指します....	3
「東横線渋谷～代官山間 地下化工事」最前線	4
平成24年春 渋谷から世界を照らす 「渋谷ヒカリエ」誕生	5
トピックス	
高齢社会に対応したシニア事業の展開 さまざまなライフスタイルの実現を支援する街 ..	7
CSRへの取り組み	8
四半期連結財務諸表	9
事業別の概況	11
会社・株式情報	13
株主優待のご案内	14



東京急行電鉄株式会社

(証券コード:9005)

ごあいさつ

株主の皆さまには、平素から格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第143期上半期の事業のご報告に当たり、ご挨拶申し上げます。

平成23年12月

取締役社長 **野本 弘文**



第143期上半期の業績および配当について

当上半期における、連結の営業収益は5,296億4千1百万円、営業利益は372億5千7百万円、経常利益は379億5千8百万円、四半期純利益は219億4千7百万円となりました。また、当上半期における当社個別の営業収益は1,185億9千3百万円、営業利益は286億2千3百万円、経常利益は256億9千7百万円、四半期純利益は188億3千9百万円となりました。

株主の皆さまへの配当につきましては、現行の中期2か年経営計画期間中、自己資本の蓄積を進めながら連結自己資本配当率2%を目処におき、安定かつ継続的な配当を実施することを基本方針としております。この方針に基づき、当期の中間配当につきましては、去る11月10日開催の取締役会において、1株につき3円と決定させていただきました。

安全の確保に全社一丸となって取り組んでおります

当社では、連結子会社を含め、「安全」をすべての事業の根幹と位置づけており、公共交通機関としての使命を担う者として、安全の確保は、最大かつ最重要の責務であると認識しております。特に鉄道事業では、安全管理の体制や方法を定めた「安全管理規程」、安全の確保に関する理念「安全方針」や従業員の行動の原則「安全行動規範」をもとに、経営トップから事業第一線の従業員まで一体となった安全管理体制を構築しております。また、輸送の安全を確保するために優先的に取り組むべき施策を「安全重点施策」として定めるとともに、大規模災害等の発生を想定した、より戦略的な安全対策を実施するため、当期には「鉄道安全戦略推進会議」を発足させました。

今後も、災害・事故に強く、お客さまが安心してご利用いただける東急線を目指してまいります。



経営基盤の強化を目指して

当社および連結子会社は、平成20年秋以降の急速な景気後退の影響により、消費行動をはじめとする社会・経営環境が大きく変化したことから、平成20年度からの中期3か年経営計画を見直し、平成22年度を初年度とする中期2か年経営計画を推進しております。

鉄道事業では、平成24年度に予定されている東横線と東京メトロ副都心線との相互直通運転に向け、渋谷～代官山間の地下化工事と、特急・通勤特急・急行列車の10両編成化対応工事を進めております。この相互直通運転により、横浜～渋谷～新宿～池袋が一路線につながり、鉄道ネットワークのさらなる充実による利便性向上が図られます。

不動産事業では、大規模拠点開発プロジェクトなど、不動産賃貸事業の拡充による「不動産事業の構造転換」を進めており、安定的かつ継続的な収益の確保と、さらな

る沿線価値の向上を目指しております。昨年から本年にかけて開業した「たまプラーザ テラス」、「二子玉川ライズ」、「東急キャピトルタワー」に加え、本年は二子玉川東地区再開発の第二期事業に着手し、また平成24年春には、渋谷駅周辺開発のリーディングプロジェクトである「渋谷ヒカリエ」が開業する予定です。「渋谷ヒカリエ」は、オフィス、ミュージカル劇場などの文化施設や東急百貨店がプロデュースする商業施設で構成される高層複合施設であり、変化し続ける渋谷の街のシンボルタワーとして、「新たな価値を創造、発信していくプラットフォーム」となることを目指しております。

わが国の人口減少による消費マーケットの縮小に加え、本年3月に発生した東日本大震災の影響などにより、リテール事業やレジャー・サービス事業では依然として厳しい経営環境が続いております。コスト削減や経営改革に鋭意取り組んでおりますが、引き続き、「人口の量的・質的変化を

先取りした事業展開」という基本戦略を堅持するとともに、将来の事業環境を見据えた経営基盤の強化に努めてまいります。

当社は、おかげさまで平成24年に創業90周年を迎えます。平成24年度は、次期経営計画をスタートさせる重要な年となりますが、計画の策定に際しては、私たちのあるべき姿をしっかりと見据え、具体的な事業戦略やアクションプランを皆さまにお示しする予定です。

今後もさまざまなステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを大切に、経営の透明性と業務の適正性を高め、企業の社会的責任を全うしてまいります。株主の皆さまにおかれましては、引き続きのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

災害・事故に強い東急線を目指します

当社では、「安全の確保」は鉄道事業の最大かつ最重要の責務であるという認識のもと、経営トップから事業第一線の従業員まで一体となった安全管理体制を構築しております。さらに、事故の再発防止策、未然防止策に注力し、さまざまな施策に取り組んでおります。

「鉄道安全戦略推進会議」の発足

大規模災害や重大事故の発生など、鉄道事業の継続に影響を及ぼすさまざまなリスクに対して、その影響を最小限に抑制し早期に運転を再開できるよう、当期から「鉄道安全戦略推進会議」を発足させました。

具体的には、本年3月に発生した東日本大震災を踏まえ、平成7年以降進めている構造物や設備の耐震補強工事を着実に推進させるとともに、復旧要員や資機材の確保による早期の運転再開や、正確で迅速なお客さまへの情報の提供など、さまざまな安全施策を検討、推進しております。

運転事故総合訓練の実施

鉄道事故が発生した際の併発事故の防止、負傷者の救護、関係部署への連絡通報、お客さまの避難誘導、復旧作業などを迅速、確実にを行うために、年1回実施しております。当期は、長津田の車庫内で実施し、「踏切で列車が自動車と接触し脱線、複数の死傷者が発生した」という想定のもと行いました。



接触した自動車からけが人を救助



保線係員が線路を正常な状態に修正

耐震補強工事と新型車両の導入

駅、高架橋、トンネルなどで耐震補強工事を引き続き進めております。当期は、学芸大学駅、大井町駅、五反田駅付近高架橋などで実施しております。また、節電や環境に配慮した新型車両を新たに71両導入いたします。新型車両は、機器



高架橋耐震補強工事

を多重化することにより、一部機器に故障が発生しても列車運行への影響を最小限に抑えることが可能となっております。

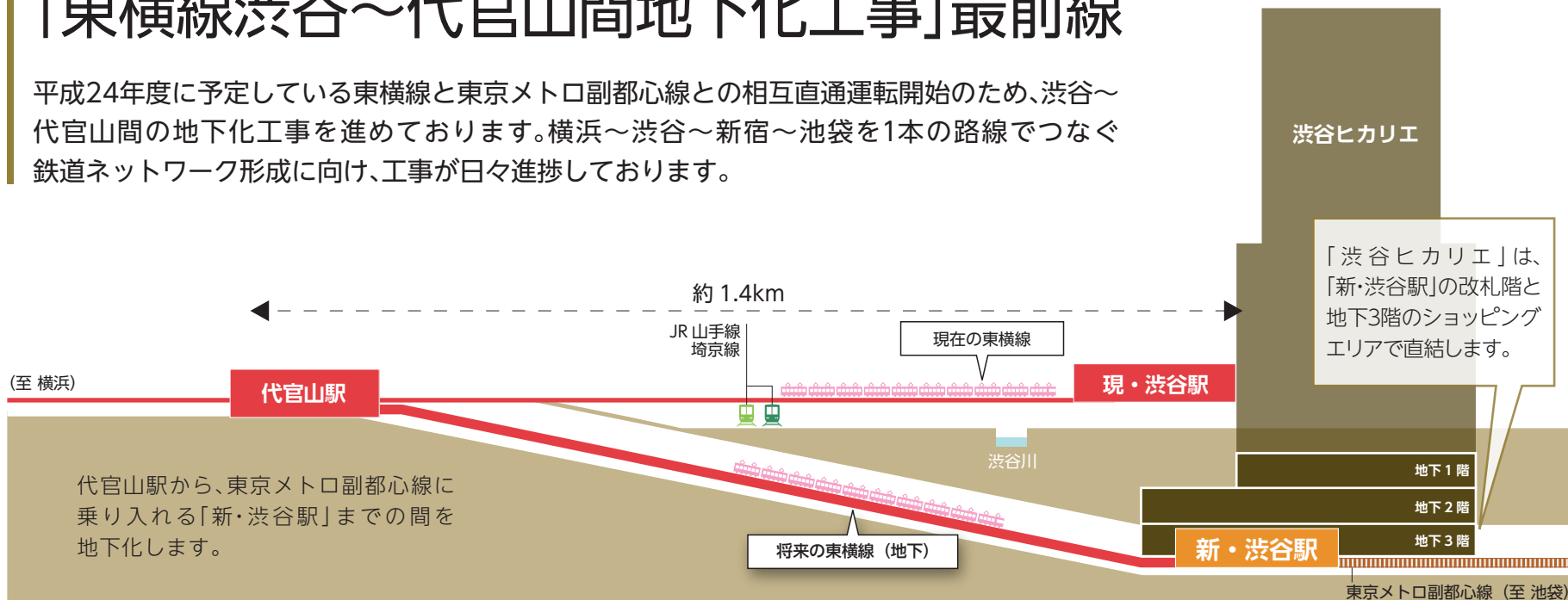


東横線と東京メトロ副都心線との相互直通運転のために新たに導入する5050系(4000番台)車両



「東横線渋谷～代官山間地下化工事」最前線

平成24年度に予定している東横線と東京メトロ副都心線との相互直通運転開始のため、渋谷～代官山間の地下化工事を進めております。横浜～渋谷～新宿～池袋を1本の路線でつなぐ鉄道ネットワーク形成に向け、工事が日々進捗しております。



代官山駅から、東京メトロ副都心線に乗り入れる「新・渋谷駅」までの間を地下化します。



代官山付近は、その形状から「箱型トンネル」と呼ばれるトンネルの構築を進めています。上下線各1本ずつ線路を敷設します。

- 「シールドマシン(掘削機械)」を使用して、トンネルを構築する工法を採用しています。シールドトンネルは円形断面が一般的ですが、本工事では、地下埋設物が多いことやトンネルが浅いことから、高さを抑えた四角い断面となっています。平成22年1月に掘進作業が完了し、現在は軌道・電気工事を行っています。



東横線が東京メトロ副都心線に乗り入れる渋谷駅区間です。上下線で4本の線路を敷設するため、大断面の箱型トンネルとなっています。

Hikarie
Office

17F-34F

TOKYU
Theatre
Orb

11F-16F

Sky
Lobby

11F

Hikarie
Hall

9F-10F

Creative
Floor 8/

8F

Café &
Dining

6F-7F

Shopping
Area

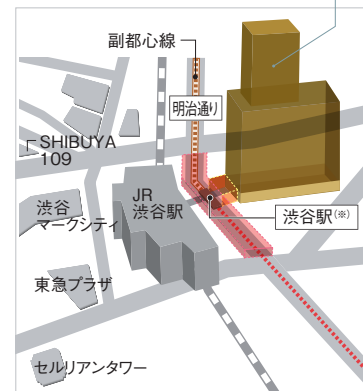
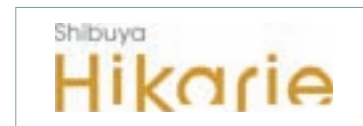
B3F-5F

渋谷駅周辺開発計画のリーディングプロジェクトとして建設を進めている高層複合施設「渋谷ヒカリエ」が、平成24年春に開業いたします。高層部には多様なワークスタイルに対応できるオフィス、中層部にはミュージカル劇場「東急シアターオーブ」をはじめとする3つの文化施設、そして低層部には東急百貨店がプロデュースする商業施設を配置する予定です。また、地下3階で東横線・東京メトロ副都心線渋谷駅と直結するほか（平成24年度予定）、地上1階から4階までの各層は周辺道路と接続するなど、街との連続性を持たせた歩行者ネットワークを形成しております。

新たな渋谷の玄関口となるこのタワーは、渋谷の街がもつ自由で柔軟なアイデアが生まれる力とチャレンジし続ける力を、更に高めます。そして、オフィスや文化施設、商業施設などのさまざまな機能が掛け合わされることで、人・モノ・情報が活発に行き交い、その時その場所でしか生まれない、新たな価値を世界に発信してまいります。

平成24年春

渋谷から 世界を照らす 「渋谷ヒカリエ」誕生



※東横線・東京メトロ副都心線 渋谷駅
（平成24年度 相互直通運転開始予定）



TOKYU
Theatre
Orb

TOKYU
THEATRE
Orb

宙空のミュージカル劇場 「東急シアターオーブ」は 平成24年7月、誕生！

「渋谷ヒカリエ」の中核施設として、11～16階に日本最大級のミュージカル劇場「東急シアターオーブ」が誕生します。当劇場では、本場のブロードウェイミュージカルなどを中心としたライブエンタテインメントを提供していきます。舞台から近く一体感のある座席空間、最新の舞台設備による高次元の感動の提供に加え、地上約70メートルのホワイエからの眺望は、非日常の華やぎも演出します。

オープニング作品は、名作「ウエスト・サイド・ストーリー」

「東急シアターオーブ」の歴史は、現代ミュージカルの原点と呼ばれるこの作品から始まります。



平成24年
7月18日～8月5日(予定)

National Tour of West Side Story.
© Joan Marcus, 2010.

「ウエスト・サイド・ストーリー」は、1957年のブロードウェイ初演以来、観客に感動を与え続ける、世界で最も愛されるミュージカルの一つです。今回上演するのは、初演版を再現するべく、トニー賞受賞脚本家アーサー・ローレンツが演出したリバイバル版です。ブロードウェイでは、2009年に開幕し、絶賛をもって迎えられました。現代ミュージカルの原点とも言えるこの作品を、ブロードウェイから招聘するのは実に48年ぶり。本場の迫力と感動を余すところなくお届けします。

第2弾公演は、トニー賞受賞の新作「ミリオン・ダラー・カルテット」

昨年ブロードウェイで開幕した新作が、「東急シアターオーブ」開業記念公演として初来日します。



平成24年
9月上旬～中旬(予定)

Million Dollar Quartet Original Broadway
Cast (Photo by Joan Marcus)

昨年ブロードウェイで大ヒットを記録し、トニー賞助演男優賞を受賞したロックンロールミュージカル「ミリオン・ダラー・カルテット」。1956年12月4日、エルヴィス・プレスリーらロックンロールの四天王が集結した“一夜限りのセッション”の裏側に迫る真実の物語。彼らの自負と対立、そして空前絶後の競演が、「ブルー・スエード・シューズ」「ザッツ・オール・ライト」ほか不朽の名曲に彩られ現代によみがえります。

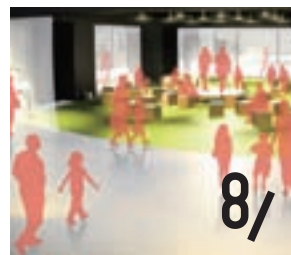


Hikarie Hall

街の新たな情報発信基地となる イベントホール「ヒカリエホール」

Hikarie
Hall

1,000㎡と300㎡の2つのホールからなる「ヒカリエホール」では、新商品発表会やファッションショー、展示会等のさまざまなイベントが展開できます。(平成24年6月オープン予定)



才能あるアーティストと社会をつなぐ クリエイティブフロア「8/」

Creative
Floor 8/

旧東急文化会館のDNAを引き継ぎ、文化の源泉であるクリエイティブな才能を社会へと繋ぐことを目指した複合スペース。国内外の優れたデザインやアートの企画展示等を通じ、人々が集い創造的な活動を行いながら交流できる場を提供します。

高齢社会に対応したシニア事業の展開

安心・快適・ゆとりのシニア邸宅
「サービス付シニア住宅」

ご入居者さまから高い評価をいただいている「東急ウェリナ大岡山」(昨年開業)に続き平成24年度には、大井町線・池上線旗の台駅前に「東急ウェリナ旗の台」の開業を予定しております。

お知らせ リーフレット等を同封しておりますのでご確認ください。



東急ウェリナ旗の台(イメージ)

また訪れたいくなる居心地のよい空間「デイサービス」

平成24年春、池尻大橋に第1号店の開業を予定しております。身体機能向上トレーニングの実施、明るく上質な空間で、お食事や寛ぎの時間をお過ごしいたします。駅に近い立地で、早朝から夜間までご利用いただける、今までにない新しいデイサービスです。

安心のサービス「高齢者見守りサービス」(東急セキュリティ㈱)



東急セキュリティ㈱では、平成20年11月にシニア層を対象とする高齢者見守りサービス「シニアセキュリティ」を開始し、多くのお客さまのご支持をいただいております。

同社では、シニアセキュリティにご加入のお客さまに対し、昨年7月より東急ストアの「当日お届けサービス」の無料化を実施したのに続き、本年7月には東急百貨店で購入した食料品を当日中にご自宅に配送する「即配サービス」の無料提供を開始いたしました。また、本年9月には、お客さまの緊急通報の情報を、登録されたご家族宛にメールで配信する「ご家族お知らせメール」の提供を開始いたしました。

お問い合わせ先 東急セキュリティお客様センター [フリーダイヤル] 0120-109-253
営業時間 9:00 - 18:00 (年末年始のみ休業) <http://www.tokyu-security.co.jp/>

さまざまなライフスタイルの実現を支援する街

東急多摩田園都市の集大成
「たまプラーザ テラス」

本年10月、「たまプラーザ テラス」はグランドオープンから1周年を迎えました。「ライフスタイル・コミュニティ・センター」のコンセプトのもと、物販店、飲食店、スーパーマーケット、スポーツクラブ、カルチャースクールなど



約140店舗の専門店と、百貨店、コンサート・イベントを行うことのできる広場やコミュニティホールなど、生活者のライフスタイル実現と地域のコミュニティ育成を支援するさまざまなサービス機能を提供しております。「たまプラーザ テラス」と一体化したたまプラーザ駅は、ダイナミックな空間のインパクトやショッピングモールとの一体感、回遊性など多くの点が評価され、社団法人鉄道建築協会による鉄道建築協会賞の作品部門で、「最優秀協会賞」を受賞いたしました。

「水と緑と光」の街
「二子玉川ライズ」

本年3月、総店舗数157店舗からなる「二子玉川ライズ・ショッピングセンター」が開業いたしました。都市と自然が融和した心地よい空間の中で、価値観やライフスタイルにあわせ気軽にご利用いただける場所として、連日賑わいを見せており

ます。なお、平成24年1月には、当社が組合員および参加組合員として参画する二子玉川東第二地区第一種市街地再開発事業が着工する予定です。

「東急グループ環境賞」を通じて、 東急グループの環境活動を 推進しております

東急グループでは平成20年度に、過去8年にわたり当社が行っていた環境表彰制度を発展させ、グループ全体を対象として環境に配慮した取り組みを募集し、その中から優秀な取り組みを表彰する「東急グループ環境賞」を創設いたしました。この賞を通じて、グループ社員一人ひとりの環境への自覚と取り組み意識を高めるとともに、優れた取り組みをグループ内に周知することで、東急グループの環境活動を推進することを目的としております。

平成22年度「東急グループ環境賞」 二子玉川再開発事業における 環境配慮



都内最大規模の組合施行による再開発「二子玉川東地区第一種市街地再開発事業(第1期事業)」が、さまざまな環境配慮に対する工夫がなされている点から、同事業に組合員および参加組合員として参画している当社と東急不動産(株)が、平成22年度「東急グループ環境賞」を受賞いたしました。開発コンセプト「水と緑と光」に基づき、厨房排水・雨水の再利用、屋上および外構緑化、既存樹木の移植、高効率照明器具やコジェネレーションシステムの採用など、多岐にわたる環境配慮がなされております。また、上記の環境配慮とあわせて、高耐久性かつ免震装置を使用した長寿命化建物・風力発電装置や雨水貯留層などを採用し、これらの取り組みの成果として、年間CO₂削減量約3,400tが見込まれております。

平成23年9月、
「CSRへの取り組み」
サイトを開設しました。

当社および東急グループ
のCSRに対する取り組みに
ついて、当社ホームページ
内にて詳細をご覧ください
けます。

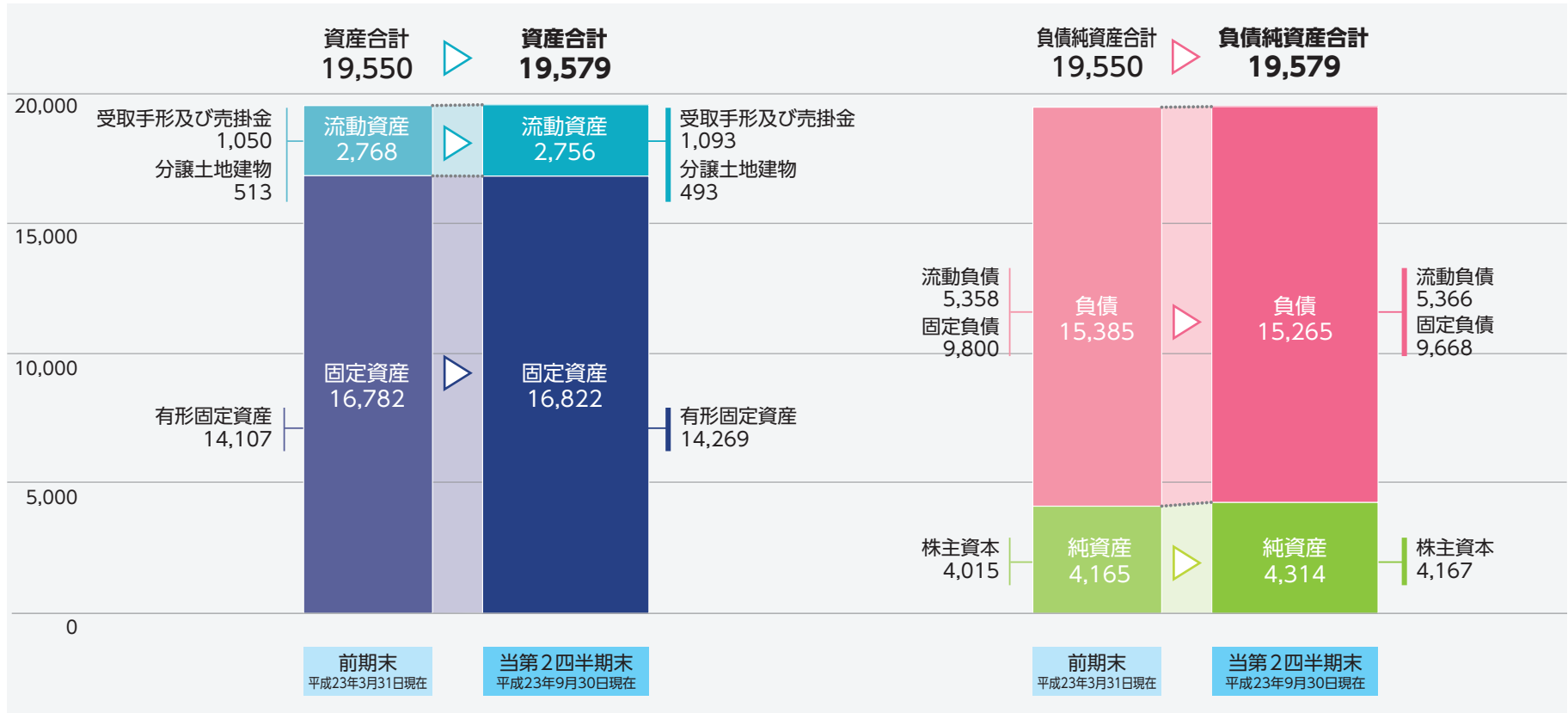


東急 CSR

検索

<http://www.tokyu.co.jp/csr/>

四半期連結貸借対照表の概要 (単位：億円、単位未満切捨)



資産

繰延税金資産の減少などがあったものの、主に当社の設備投資による有形固定資産が増加したことなどにより、1兆9,579億円(前期末比28億円増)となりました。

負債

有利子負債(借入金・社債)が、前期末から170億円減少の1兆242億円となったことなどにより、1兆5,265億円(前期末比119億円減)となりました。

純資産

剰余金の配当や持分法の適用範囲の変更による利益剰余金の減少などがあったものの、四半期純利益を計上したことなどにより、4,314億円(前期末比148億円増)となりました。

当社IRサイトでも詳しくご案内しております。

東急 IR

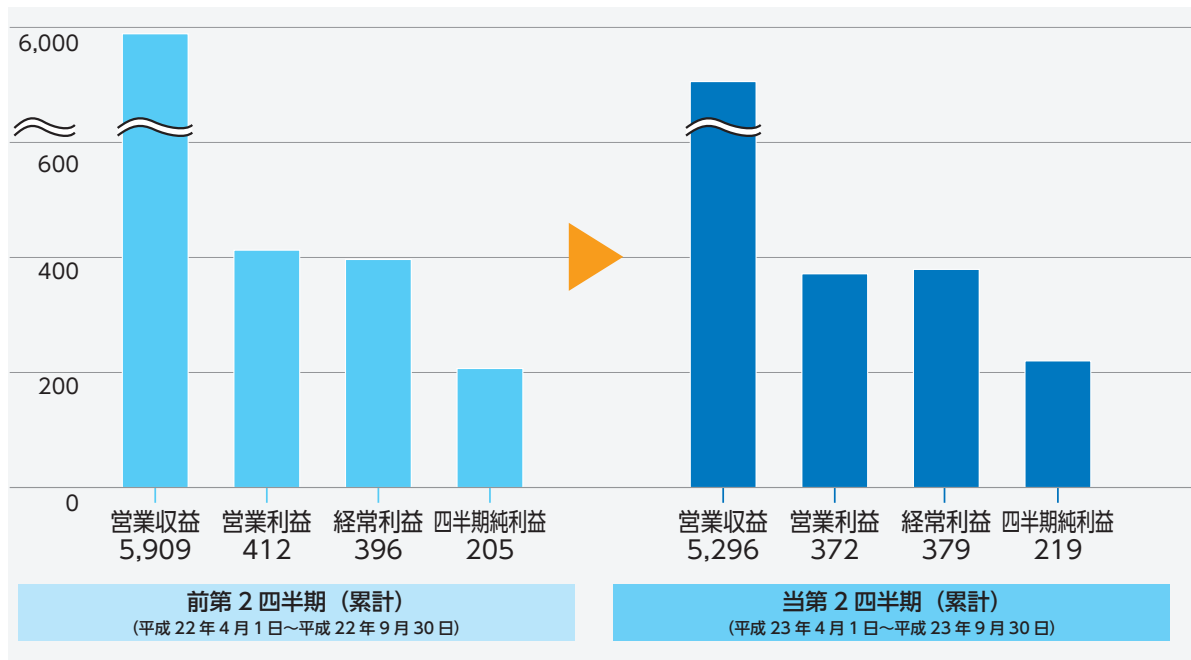
検索

<http://www.tokyu.co.jp/ir/investors.html>

本レポートは決算短信の数値、文章を基に作成しております。その後公表される可能性がある訂正情報や業績予想の修正情報のほか、決算の詳細につきましては、当社ホームページの掲載資料にてご確認ください。



四半期連結損益計算書の概要 (単位：億円、単位未満切捨)



■ 営業収益・営業利益

不動産事業において、前年度の大型集合住宅（マンション）販売の反動減があったほか、東日本大震災の影響などもあり全ての事業で減収となり、営業収益は5,296億円（前年同期比10.4%減）、営業利益は372億円（前年同期比9.8%減）となりました。

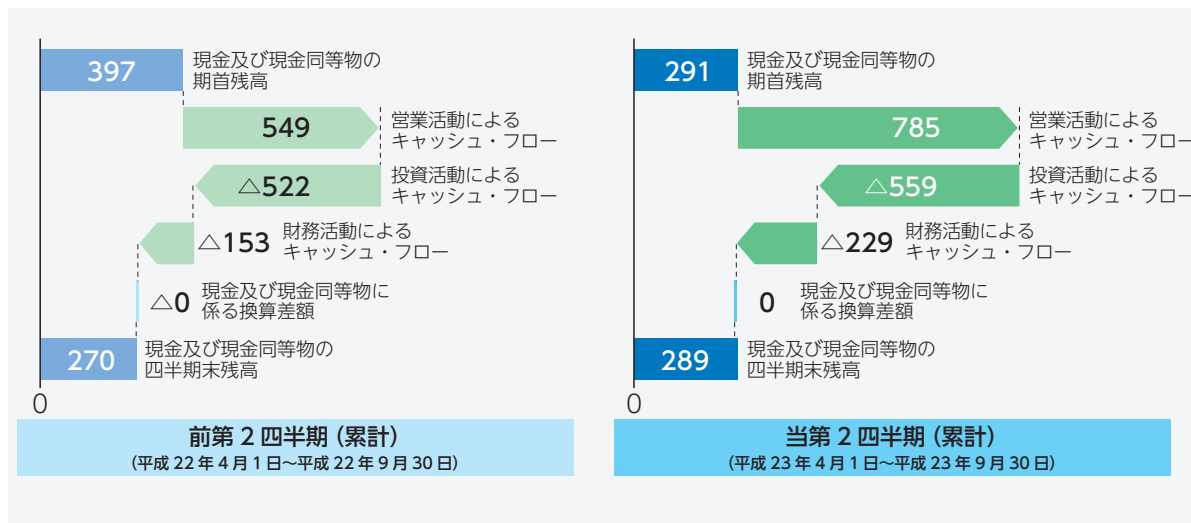
■ 経常利益

持分法による投資利益を計上したことなどにより、379億円（前年同期比4.3%減）となりました。

■ 四半期純利益

特別損失にて事業譲渡損失引当金繰入額を計上したものの、前年度に資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額など、多額の特別損失の計上があったことから、219億円（前年同期比6.9%増）となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：億円、単位未満切捨)



■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

仕入債務の支払額が減少したことなどにより、236億円の収入増となりました。

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

固定資産の取得による支出が増加したことなどにより、36億円の支出増となりました。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

社債の償還や借入金の返済を進めたことなどにより、229億円の支出となりました。

事業別の概況

→ 会社・株式情報

東京急行電鉄(株) 子会社144社 関連会社14社 (平成23年9月30日現在)



交通事業

当社および主な子会社

鉄軌道業 東京急行電鉄(株)／伊豆急行(株)／上田電鉄(株)

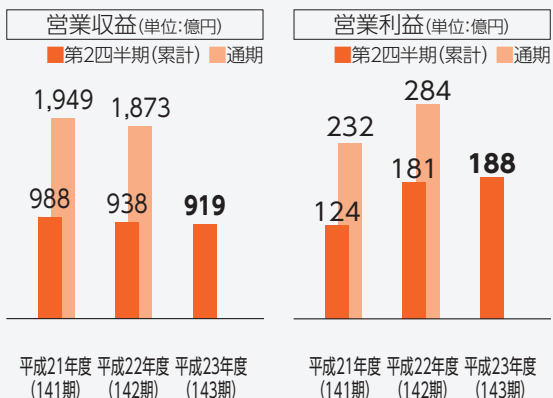
バス業 東急バス(株)／(株)じょうてつ

当第2四半期(累計)の業績

営業収益 **919**億円 (前年同期比2.0%減)

営業利益 **188**億円 (前年同期比3.8%増)

- 東日本大震災の影響により輸送人員が減少したこともあり、営業収益は前年同期比で減少。
- 当社の鉄軌道業において、減価償却費が減少したことなどにより、営業利益は増益。



不動産事業

当社および主な子会社

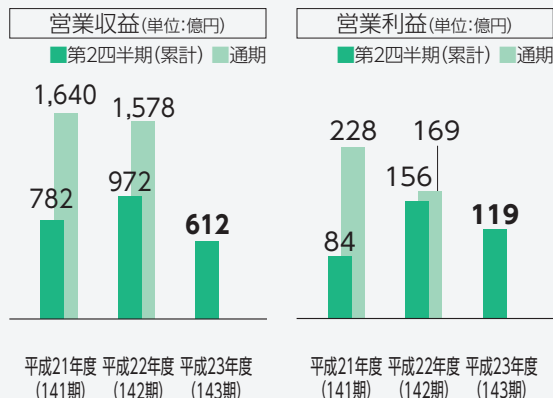
不動産販売業 東京急行電鉄(株)
 不動産賃貸業 東京急行電鉄(株)
 不動産管理業 東急ファシリティサービス(株)
 警備業 東急セキュリティ(株)

当第2四半期(累計)の業績

営業収益 **612**億円 (前年同期比37.0%減)

営業利益 **119**億円 (前年同期比23.7%減)

- 当社の不動産賃貸業において、二子玉川ライズ、東急キャピトルタワーの開業に伴う賃貸収入の増加などがあったものの、当社の不動産販売業における、前年度に計上した東急線沿線における大型集合住宅(マンション)販売の反動減などにより、営業収益、営業利益ともに前年同期比で減少。



リテール事業

当社および主な子会社

百貨店業 (株)東急百貨店
 (株)ながの東急百貨店

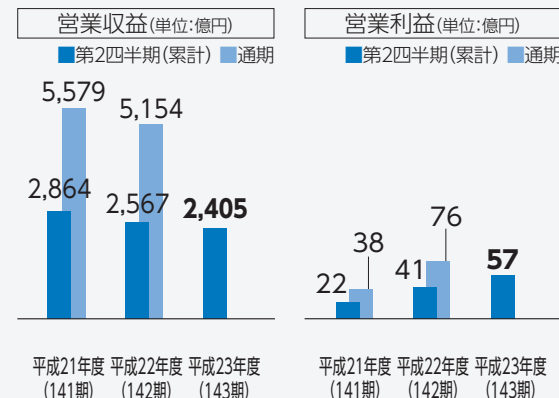
チェーンストア業 (株)東急ストア
 ショッピングセンター業 (株)東急モールズデベロップメント
 クレジットカード業 東急カード(株)

当第2四半期(累計)の業績

営業収益 **2,405**億円 (前年同期比6.3%減)

営業利益 **57**億円 (前年同期比39.7%増)

- 長引く個人消費の低迷に加え、東日本大震災に伴う消費の自粛や、事業構造改革に伴う店舗閉鎖などもあり、営業収益は前年同期比で減少。
- 開業費や人件費などをはじめとする費用の削減などにより、営業利益は増益。





レジャー・サービス事業

当社および主な子会社

ゴルフ業 (株)スリーハンドレッドクラブ
 広告業 (株)東急エージェンシー
 有線テレビジョン放送業 イッツ・コミュニケーションズ(株)
 学童保育事業 (株)キッズベースキャンプ

当第2四半期(累計)の業績

営業収益 **748**億円 (前年同期比2.5%減)
 営業利益 **19**億円 (前年同期比2.5%減)

●(株)東急エージェンシーにおいて、東日本大震災の影響に伴い、各種広告、イベントなどの売上が減少したことにより、営業収益、営業利益ともに前年同期比で減少。



ホテル事業

当社および主な子会社

ホテル業 (株)東急ホテルズ
 マウナラニリゾート(オペレーション),INC.

当第2四半期(累計)の業績

営業収益 **365**億円 (前年同期比13.0%減)
 営業損失 **18**億円 (前年同期は3億円の営業利益)

●(株)東急ホテルズにおいて、東日本大震災の影響を受けた稼働率は回復傾向にあるものの、客室単価の戻りが鈍く、また外国人客の大幅な減少もあり、営業収益は前年同期比で減少し、営業損失を計上。



その他事業

当社および主な子会社

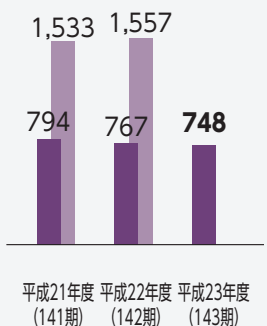
鉄道車両関連事業 東急車輛製造(株)
 商社業 東急テクノシステム(株)
 東急ジオックス(株)

当第2四半期(累計)の業績

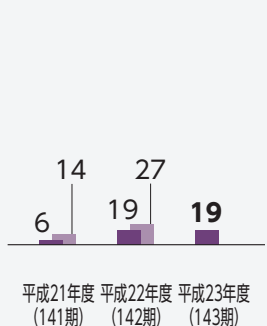
営業収益 **582**億円 (前年同期比1.8%減)
 営業利益 **6**億円 (前年同期比19.9%減)

●東急車輛製造(株)において、鉄道車両の売り上げが減少したことなどにより、営業収益、営業利益ともに前年同期比で減少。

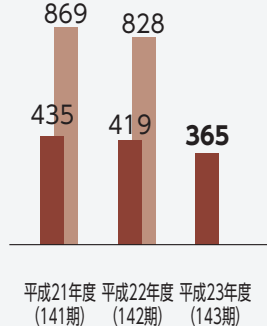
営業収益(単位:億円)
 ■第2四半期(累計) ■通期



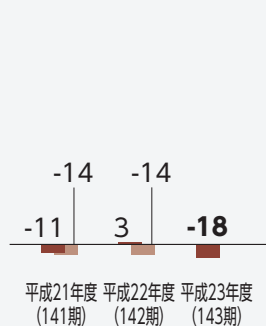
営業利益(単位:億円)
 ■第2四半期(累計) ■通期



営業収益(単位:億円)
 ■第2四半期(累計) ■通期



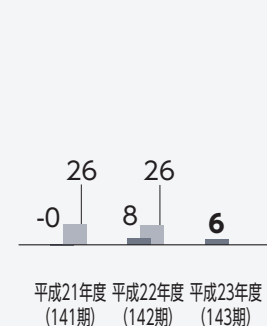
営業利益(単位:億円)
 ■第2四半期(累計) ■通期



営業収益(単位:億円)
 ■第2四半期(累計) ■通期



営業利益(単位:億円)
 ■第2四半期(累計) ■通期



会社概要

- 商号 (英文名) 東京急行電鉄株式会社 (TOKYU CORPORATION)
- 設立年月日 大正11年(1922年)9月2日
- 本店所在地 東京都渋谷区南平台町5番6号
- 事業内容 鉄軌道事業・不動産事業

役員一覧

- ※ 取締役会長 越 村 敏 昭
- ※ 取締役社長 野 本 弘 文
- ※ 取締役副社長 杉 田 芳 樹
- 専務取締役 木 下 雄 治
- 高 橋 遠
- 今 村 俊 夫
- 桑 原 常 泰
- 常務取締役 巴 政 雄
- 泉 康 幸
- 取締役相談役 上 條 清 文
- 取 締 役 八 方 隆 邦
- 鈴木 克 久
- 大 畠 俊 昭
- 渡 邊 功 功
- 大 野 浩 司
- 星 野 俊 幸
- 高 橋 和 夫
- 根 津 嘉 澄
- 小 長 啓 一
- 植 木 正 威
- 常勤監査役 岩 田 哲 夫
- 吉 田 創 二
- 監 査 役 河 野 俊 衛
- 岡 本 圀
- 齋 藤 勝 利

※は代表権を有する取締役です。

株式の状況

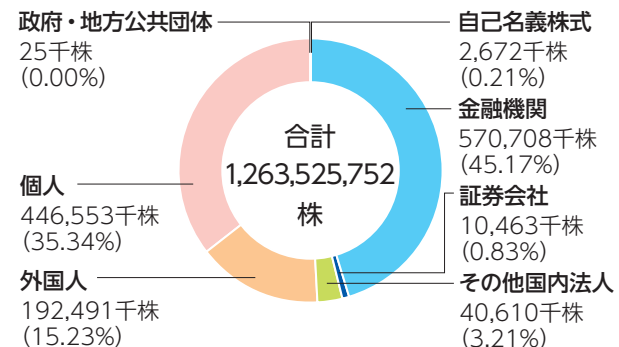
- 資本金 …………… 121,724,981,774 円
- 発行可能株式総数 …………… 18 億株
- 発行済株式の総数 …………… 1,263,525,752 株
- 株主数 …………… 97,969 名

大株主 (上位 10 名)

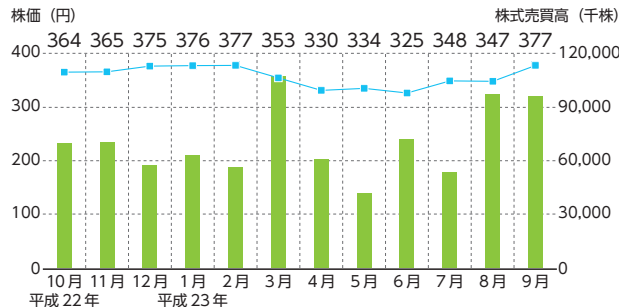
株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
第一生命保険株式会社	77,475	6.13
日本生命保険相互会社	69,606	5.51
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	45,889	3.63
中央三井信託銀行株式会社	38,357	3.04
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	35,398	2.80
株式会社三菱東京UFJ銀行	21,477	1.70
SSBT OD05 OMNIBUS ACCOUNT-TREATY CLIENTS	21,279	1.68
三菱UFJ信託銀行株式会社	21,188	1.68
株式会社みずほコーポレート銀行	20,236	1.60
住友信託銀行株式会社	19,806	1.57

※自己名義株式を含む発行済株式総数(1,263,525千株)に対する割合を表示しております。

所有者別株式分布



株価と株式売買高の推移



株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで
- 期末配当金支払基準日 3月31日
- 中間配当金支払基準日 9月30日
- 株主名簿管理人 中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 (電話照会先)

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

電話 **0120-78-2031**

(フリーダイヤル・平日9:00~17:00)

http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

取次事務は、中央三井信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。

公告 (電子公告)

<http://www.tokyu.co.jp/koukoku/index.htm>

各種手続きのお申し出先

1	未払配当金の支払請求	中央三井信託銀行 (株主名簿管理人)
2	住所変更、相続、単元未満株式の買取請求・買増請求、配当金受け取り方法の指定等のご請求	お取引証券会社等 ※なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、中央三井信託銀行(特別口座管理機関)にお申し出ください。
3	特別口座からの口座振替	中央三井信託銀行 (特別口座管理機関)

株主優待のご案内

株主の皆さまには、ご所有株式数に応じ、東急線全線にご乗車いただける株主優待乗車証や当社グループ各施設でお買い物・ご宿泊等にご利用いただけるご優待券をお送りしております。



さらに

3,000株以上

ご所有の株主さまへのご優待

発送は半期ごと(5月、11月)になります。

1,000株以上

ご所有の株主さまへのご優待

発送は半期ごと(6月、12月)になります。

東急百貨店 ^(注1)	お買い物	10%割引券 10枚
東急ストア ^(注2)	お買い物	50円割引券 40枚
東急ホテルズ	客室正規料金	30%割引券 8枚
Bunkamura ザ・ミュージアム ^(注3)	ご招待券	2枚

※五島美術館ご招待券は、平成24年秋頃(予定)まで改修工事による休館のため、発行いたしません。

(注1) 現金による合計金額3,000円(税抜)以上の同一売場でのお買い物1回につき、その金額の10%(100円未満四捨五入)を割引いたします(ただし、食料品、セール品、その他除外品がございます)。なお、割引券1枚につき50,000円(税抜)までのお買い物にご利用いただけます。

(注2) 1回のお買上合計金額1,000円(税込)以上につき、1,000円ごとに各1枚(50円)をご利用いただけます(ただし、商品券、タバコ、その他除外品がございます)。

(注3) 平成23年12月22日まで、改修工事のため休館いたします。

(注4) 電車全線きっぷは、1枚につき、東急線片道1乗車に限りご利用いただけます。

(注5) 東急バスについては、深夜急行バス、空港直行バスなど一部ご利用いただけない路線がございます。

	発送時期	内容	有効期限
3月31日現在の株主さま	5月中旬	優待乗車証	11月30日まで
	6月上旬	ご優待券	12月31日まで
9月30日現在の株主さま	11月中旬	優待乗車証	翌年5月31日まで
	12月上旬	ご優待券	翌年6月30日まで

ご所有株式数	株主優待乗車証発行枚数	
3,000株以上 5,000株未満	電車全線きっぷ ^(注4)	10枚
5,000株以上 10,000株未満	電車全線きっぷ	20枚
10,000株以上 19,000株未満	電車全線きっぷ	40枚
19,000株以上 24,000株未満	電車全線きっぷ	80枚
24,000株以上 28,000株未満	電車全線パス + 電車全線きっぷ	1枚 10枚
28,000株以上 57,000株未満	電車全線パス + 電車全線きっぷ	1枚 30枚
57,000株以上	電車・東急バス全線パス ^(注5) + 電車全線きっぷ	1枚 30枚

3年以上継続して3,000株以上保有の場合
電車全線きっぷ 5枚追加

3年以上継続して10,000株以上保有の場合
電車全線きっぷ 10枚追加

継続保有の条件について

当社の株主名簿に、同一株主番号で、当該基準日を含む直近7回の基準日(3月31日、9月30日)に継続して記載された株主さまに対し、その7回の基準日に保有していた最少株式数に応じて追加発行いたします。

●相続、株主名簿からの除籍等により株主番号が変更になった場合は、その直後の基準日から起算いたします。

●株式交換等により当社株主となった場合は、その直後の基準日から起算いたします。株式交換等以前の時期との通算はいたしません。

●株主名簿への記載が同一の方であり、何らかの事情により株主番号が変更になっている場合には、その確認がとれる場合に限り、前後を同一株主番号として取り扱います。

●その他の事項は、当社の定める基準によります。

株主カレンダー

株主優待発送日などのスケジュールは裏表紙をご覧ください

裏表紙へ

株主カレンダー (平成23年12月時点の予定です。)

各種ご通知書類の発送日は、当社IRサイトでご案内いたします。



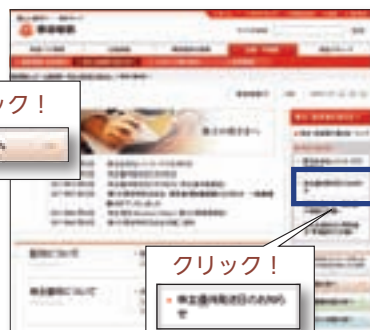
当社の決算情報をはじめ、株主優待発送日や株式事務のご案内などは、当社IRサイトでも詳しくご案内しております。

<http://www.tokyu.co.jp/ir/investors.html>



当社の適時開示情報や決算情報など、さまざまな情報を掲載しています。

株主・投資家の皆さまへ



株主の皆さまに有用な情報をまとめて掲載しています。

株主の皆さまへ

ご存知ですか? IRサイト

知っトク情報



株主優待発送日については、こちらでご確認いただけます。

東急グループお客さまご案内窓口

東急お客さまセンター

当社では、当社および東急グループに関するお客さまからのお問い合わせやご意見、ご要望をお受けするため、専用の窓口「東急お客さまセンター」を設けております。お客さまから承った声は、経営者をはじめ全社で共有し、当社および東急グループ各社の施設やサービスの改善、業務の見直しに役立てております。

営業時間 月～金 8:00～20:00
土日祝 9:30～17:30
※年末年始などを除きます。

住 所 〒150-8511 東京都渋谷区南平台町5番6号
東京急行電鉄株式会社 東急お客さまセンター
TEL 03-3477-0109 FAX 03-3477-6109
URL <http://www.tokyu.co.jp/>

お問い合わせ

東京急行電鉄株式会社 社長室 総務部

〒150-8511 東京都渋谷区南平台町5番6号

TEL (03) 3477-6228 (月～金 9:30～12:30/13:30～17:00)



この報告書は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすく配慮されたデザイン(カラーユニバーサルデザイン)として認定されました。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮した植物油インキを使用しています。

平成23年12月